

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年2月1日

事業所名 放課後等デイサービスわか

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・一日利用の日は午前午後で活動場所を分ける	・利用人数によっては接触する可能性がある。遊び方や遊ぶ位置に配慮している。 ・パニックや不穏時に落ち着ける個室がもう少し欲しいと感じることがある。
	2	職員の配置数は適切である	○		・必要に応じてマンツーマンの対応をしている	・強い行動障害のお子さんおり、対応できない指導員がいる。数は足りているが適切な配置数であるかは疑問。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	◎			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			・会議にはパート指導員も参加してもらい、情報共有・意見交換を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	◎			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	◎			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・外部評価未実施。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・コロナ禍ということで外部研修は控えている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	◎			・送迎や個別支援計画面談等、保護者様の思いを傾聴し、課題を分析している
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・支援に入る前に打合せを行い、その日何をするか話し合っている。 ・今後、様々な活動ができるようより一層職員間で話し合いを深め、ブラッシュアップに努める。	・チームで行えていない。その日、支援に当たる児童の活動だけでも個々で考えていきたい。 ・数年固定化されているのでは？
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・利用者さんやそのご家族が何を望まれているか考えながら支援をしている。	・見守り、散歩が多い。個別活動時も固定されている。興味関心を広げる意識が薄い。 ・固定化しがち。月1回持ち回りで活動を考え実施。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	◎			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	◎		・打合せ以外にも話し合いの場を設ける。 ・報連相をもっと意識していく。	・打合せは行うが、その日行われる支援の内容を確認することが少ない。 ・打合せ以外にもっと話し合いをもっと良い。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	◎		・良かったことについてももっと発信していく。	・特記事項や問題行動についての振り返りが多い。良いことを話すも活かされていない。 ・即時必要なことは会議を待たず共有・実践している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	◎			・個々では支援の検証、改善につなげていると思う。 ・後から見返してわかるように記載。 ・月1で状況をまとめ、良かったことを会議で共有。 ・個別支援計画を意識して記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	◎			・コロナの影響もあり、実施時期がずれてしまっているが行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	◎		・ガイドラインをもう一度読み返し支援に活かしていく。	・「子どもが意欲的にかかわれるような遊びから成功体験をつむぐことで自己肯定感を育む」等が示されているが、活動の固定化もあり、改善が必要。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	◎		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々、こちらからも学校での様子を積極的にかがっていく。</li> <li>・児童のクラス担任やコーディネーターと迎えに行ったときに連絡調整を行っている。</li> <li>・上手く引き継ぎが行えず、後々知ることがあった。</li> </ul>
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児以外の利用者さんの様子も必要に応じて医師に連絡をしている。</li> <li>・主治医に保護者を通して連絡している</li> <li>・医療的ケア児の受け入れなし。</li> </ul>
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前に契約を希望されたときには利用されているサービスの見学に行っている。</li> </ul>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供を求められたことはないが、提供できるよう準備はしている。</li> </ul>
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・あい主催研修(WEB)へ参加。</li> </ul>
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公園等で一緒になることはある。</li> </ul>
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナで開催されているかわからず。</li> <li>・今年度未実施(連絡もなし)</li> </ul>
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	◎		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・31項目にも通じるが、ご相談やお話しするなかで、「〇〇してみたらわかっただけは上手かった」「〇〇して△△になったお子さんもいた」等経験則からお伝えする程度にとどまっている。</li> <li>・ご相談を受けた際にはわかる範囲でお答えしている。</li> </ul>
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	◎		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な助言や支援が的確に行われているのか？子育ての悩みも事業所と家庭というくりで答えが難しいことがある。</li> </ul>
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、WEB等での開催も検討していく。</li> <li>・コロナで開催なし(茶話会)</li> </ul>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	◎		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月利用決定表に簡単なお便りを記載。</li> </ul>
	35	個人情報に十分注意している	◎		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭だけでなく、付箋などで伝達を行う。</li> </ul>
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	◎		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施なし。</li> </ul>

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	◎		・来年度より配布し、周知に努めます。	・作成済み。周知に至っていないため、今後保護者様へ説明・周知に努めていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	◎			・入所と合同で行っている。わかのみでは防震災、防火災訓練を各1回ずつ行った。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	◎			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	◎			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	◎		・意識的に「これはヒヤリだったのでは？」と職員間で話をしていく	・法人内ネットワーク(サイボウズ)で共有。各々の書く意識が低い。